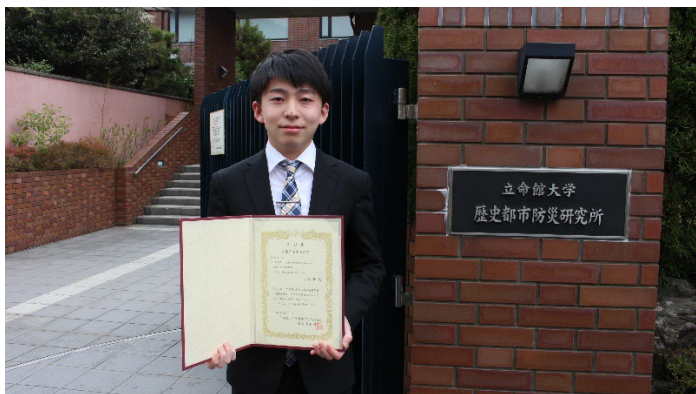


2022.03.18

4 回生の大野新さんが歴史都市防災研究所合同修士論文・卒業研究発表において最優秀卒業研究賞を受賞しました。

2022年2月26日（土）に開催された立命館大学歴史都市防災研究所合同修士論文・卒業研究発表において、地理学専攻4回生の大野新さんが最優秀卒業研究賞を受賞しました（論文タイトル「[住民意識にみる低頻度大規模災害からの鉄道交通の事前復興—和歌山県那智勝浦町を例に—](#)」←タイトルをクリックすると詳細な資料を閲覧できます）。



地理学専攻4回生 大野新さん

大野さんは、大規模災害によって和歌山県の太平洋沿岸を走るJR 紀勢本線新宮駅～串本駅の区間が被災した場合を想定し、当該区間の復旧・復興の方法として鉄道、BRT、路線バスのどのような組み合わせを地域住民が望ましいと考えているのかについて、社会調査と統計分析の方法を使って分析しました。

表 設定した復旧パターン

復旧パターン	内容
①	全線で鉄道として復旧する
②	鉄道とBRTまたは路線バスを併用して復旧する
③	鉄道を廃止し、全線でBRTとして復旧する
④	鉄道を廃止し、全線で路線バスとして復旧する

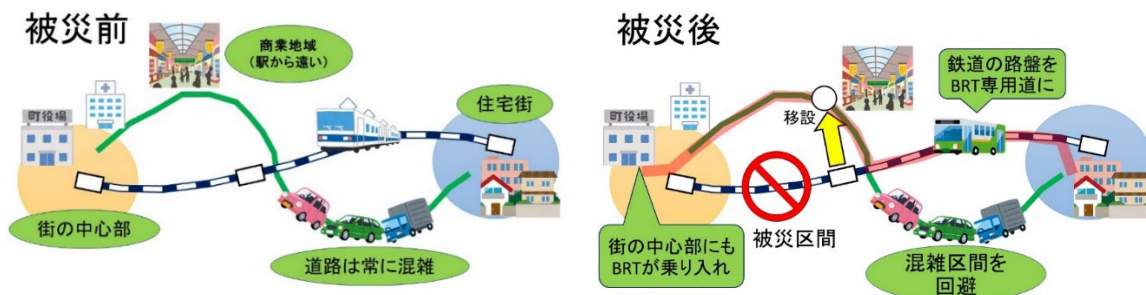


図 BRT 復旧のイメージ

・立命館大学歴史都市防災研究所 Web サイト

<https://r-dmuch.jp/>